



しょう りん

松 林

石巻市立渡波中学校 学校だより

第 10 号

令和6年3月1日発行 文責 教頭 鈴木 国也

目指す生徒像

自律する渡中生

大切にしたい2つのあたりまえ

- あいさつをする
- 時間を守る

2月29日(木)3年生を送る会

2月29日には、3年生を送る会を実施しました。この会は、これまで最上級生として、様々な面で学校をリードしてくれた3年生に対し、1・2年生が感謝の気持ちを表すということと、渡波中の伝統を引き継ぐという大きなねらいがあります。

1年生は、これまで準備し、練習してきた合唱「旅立ちの日に」を、卒業生に向けて発表しました。

2年生は、部活動ごとに、先輩への感謝のメッセージを、映像に編集し上映しました。

3年生からは、1・2年生に向けて、合唱「道」を熱唱してくれました。すばらしいメッセージが届けられました。

最後は、思い出のスライドショーが上映され、思い出を振り返りました。1・2年生時に教科や部活動を御指導いただき転任された先生方からも、映像が届けられました。会場は、歓声やなつかしさにあふれました。

3年生は、これから挑む高校入試と、卒業式に向けて、心新たな気持ちになったのではないのでしょうか。生徒会執行部のみなさん、準備から企画・運営まで、大変ありがとうございました。



2月21日(水)SPS認証式



SPSとは、セーフティプロモーションスクールの略です。学校独自の学校安全の推進を目的とし、その目標や計画を達成するための組織の整備がされ、継続的に実践していることが認められた学校を、SPSとして認証しようとする取り組みです。世界で108の学校や幼稚園がSPSの活動に参加しています。本校がこれまで取り組んできた独自の避難訓練や防災マップの制作が認められ、SPSに認定されたことは、非常に喜ばしいことです。2月21日には、本校の体育館で、PTA会長さん始め、多くの来賓を招いて、認証式が行われました。

認証式では、生徒を代表して、2年生の川上姫依さんが、認証校としての決意を堂々と発表しました。

2月19日(月)はまなす会卒業を祝う会



2月19日には、本校の体育館において、はまなす会の卒業を祝う会が行われました。はまなす会は、渡波中学校区と万石浦中学校区の小中学校で特別支援学級の生徒を支援する会です。卒業を祝う会は、4年ぶりの開催となりました。1年生の佐々木瑛人君が全体の司会を見事に務めました。

ゲームもあり、小学生を中学生がサポートする姿も見られ、楽しい雰囲気の中で卒業生を祝うことができました。

2月22日(木)外部講師を招き、放射線の授業

2月22日には、全学年を対象に、放射線に関する専門の講師を招き、理科の時間に授業をしていただきました。生徒にとって「放射線」という言葉は、聞いたことがあり、なんとなく分かっているような、いないような言葉であると思います。目に見えない放射線とは、いったいどのようなものなのか、専門的な観点からしっかりと学び、よい機会であったと思います。



2月27日(火)2年生 立志式



2月27日には、2年生の立志式が行われました。2年生一人一人が、「決意の漢字」として、自分の思いを漢字一文字に表現し、発表しました。

よく見かける漢字から、難しい読みの漢字もありました。また、自分の名前の中にある漢字を選んだ生徒も多く、保護者の方々は、感慨深い思いだったのではないのでしょうか。

最後に、2学年の保護者を代表して、2学年部長の山谷さんが、お話をしていただきました。

大変感動いたしましたので、その文を載せます。ぜひお読みください。

2年生の皆さん、本日は立派な姿を見せていただき、また素晴らしい時間を共有させていただきありがとうございました。保護者を代表して、まずは感謝の気持ちを伝えます。一人一人が漢字一文字に自分の気持ち、想いを込め、堂々と発表する姿を見て、中学生としての成長を感じました。

あっという間に14歳、あと6年も経てば成人を迎える年齢になりますね。皆さんが生まれるずっと前からお母さんたちはお腹の中に芽生えた命を大切に大切に慈しんできました。

皆さんが1歳の頃、東日本大震災が起きました。辛く悲しい事が多かったためか記憶にふたをしてしまった部分が多いですが、私は一つ鮮明に覚えていることがあります。当時住んでいた借家にあま

り被害がなかったため、避難所へは行かず過ごしていましたが、震災から3日後ぐらいにいよいよ食料が少なくなってきました。そんな朝、ヘリコプターの音で目覚めました。娘に食べさせる物が何かもらえるかもしれないと飛び起きてコートを羽織り、娘をわきに抱え、小学校へ急いで走りました。結局ヘリコプターは病人を運ぶため何も食料はもらえず、がっかりしてとぼとぼと歩いて帰ってきたことを覚えています。

徒歩10分の距離を1歳の子供を抱えて走るなど、今では考えられません。

でも、その時はできたのです。親は子供を助けるためには、全力以上の力を出せます。

私たちが皆さんの親でいる以上、ずっとそのことを忘れないでください。

今日、私も皆さんと同じように、漢字一文字を選びました。「信」という字です。信には、嘘を言わない、偽りが無い、信じるなどの意味があります。人は困ったとき、つい嘘をついたり、ごまかしたりしたくなるものです。その場をまず取り繕おうとするかもしれません。

今後大人になり、いろいろな困難に直面することがあるでしょう。一つ嘘をつくとそれを隠すのにまた嘘を重ね、本来の姿が分からなくなります。

分からないことは分からない、できないことはできないと正直に話す勇気をこれからも持ち続けてください。

また、家族や友達を信じることはもちろんのこと、自分自身の可能性を信じてください。

中学校を卒業後、進学、就職など皆さんは選んだ別々の道を生きていきます。

時には、他人がうらやましく思えるときがあるかもしれません。私も若い時はそんな時期がありました。「あの人がいい所に就職したなあ」「あの人が幸せそうだなあ」とうらやましく思ったことがあります。

でも自分だけの人生です。自分自身の可能性を信じて進めば、他人をうらやむことはない、自分の人生を楽しむことができます。

いろいろなことがあった人生だけれど、私は今とても幸せです。皆さんも幸せだと思える人生を歩んでほしいと、家族もここにいる先生方も願っています。そしてずっと見守り続けたいと思います。

以上が、私からの伝えたい気持ちです。ありがとうございました。

2月20日(火)1年生 職業人の話を聞く会

2月20日には、1年生を対象とした、職業人の話を聞く会が実施されました。様々な職種の6名の方を講師にお招きして、生徒が希望する職種ごとに教室を分けて行いました。なかなか聞くことができない貴重なお話を聞くことができ、今後の職業選択や進路の意識に大きな影響を与えてくれたものと思います。来年度の職場体験学習等につなげて行ってほしいと思います。



2月4(日)渡波地区意見発表会

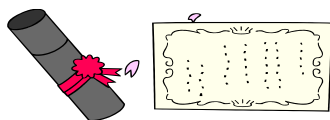


2月4日には、第51回となる、渡波地区の意見発表会が、渡波公民館で開催されました。4年ぶりの開催となりました。

本校では、2年生から白出結愛さんと1年生から佐々木俐旺君が代表として、渡波地区の将来を見据えた意見をまとめました。結愛さんは、「住み続けられるまちづくりを」と題して、俐旺君は、「私たちに今できること」と題してそれぞれが、自分の考えを堂々と発表しました。将来の渡波地区を考えるよい機会になったことと思います。

3月の予定

- 1日(金) 卒業式練習(5校時)・生活アンケート
- 4日(月) 卒業式練習(3・4校時)
- 5日(火) 公立高校一次入試 部活動なし
実力テスト(1・2学年)
1・2年生弁当
- 6日(水) 公立高校一次入試(面接等)
卒業式総練習(1~3校時)
卒業式準備, 部活動なし
3年生: 給食後下校
- 7日(木) 第77回卒業式 10:00~
2年生参加, 通常登校, 11:30下校
1年生は登校しない日, 部活動なし



- 8日(金) 公立高校追試験 部活動なし

- 11日(月) みやぎ鎮魂の日 休業日
部活動なし
- 12日(火) 専門委員会・中央委員会
部活動なし
- 13日(水) 原子力防災に関する訓練
- 14日(木) 公立高校一次入試合格発表 15:00
部活動なし
- 15日(金) フリー参観
学年懇談(1・2年) 部活動なし
- 16日(木) 公立高校一次入試合格発表 15:00
部活動なし
- 19日(火) 部活動なし
- 20日(水) 春分の日
- 21日(木) 公立高校二次入試
- 22日(金) 修了式 部活動なし
- 25日(月) 春休み ~4月7日
- 26日(火) 新入生一日入学
- 27日(水) 離任式 9:00・PTA 会計監査会 18:30